

2012年2月期

決算説明資料

2011年3月～2012年2月



株式会社 エスケイジャパン

代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

グループ事業内容

キャラクターエンタテインメント事業



株式会社 エスケイジャパン



SKJ USA, INC.

- ・AM(アミューズメント)部門 … アミューズメント施設のプライズ機(景品提供機)向け商品の企画販売
- ・SP(セールスプロモーション)部門 … 企業の販売促進商品等の企画販売
- ・EC(イーコマース)部門 … インターネットサイトでのキャラクターグッズの販売
- ・SKJ USA, INC. … アメリカでのキャラクターグッズの販売およびアメリカのキャラクター発掘

キャラクター・ファンシー事業



株式会社 サンエス



株式会社 ケー・ディー・システム

- ・キャラクターのぬいぐるみ・キーホルダー・携帯電話関連グッズ等をヴィレッジバンガード、ドンキホーテ、キデイランド等へ企画販売

リテイル事業

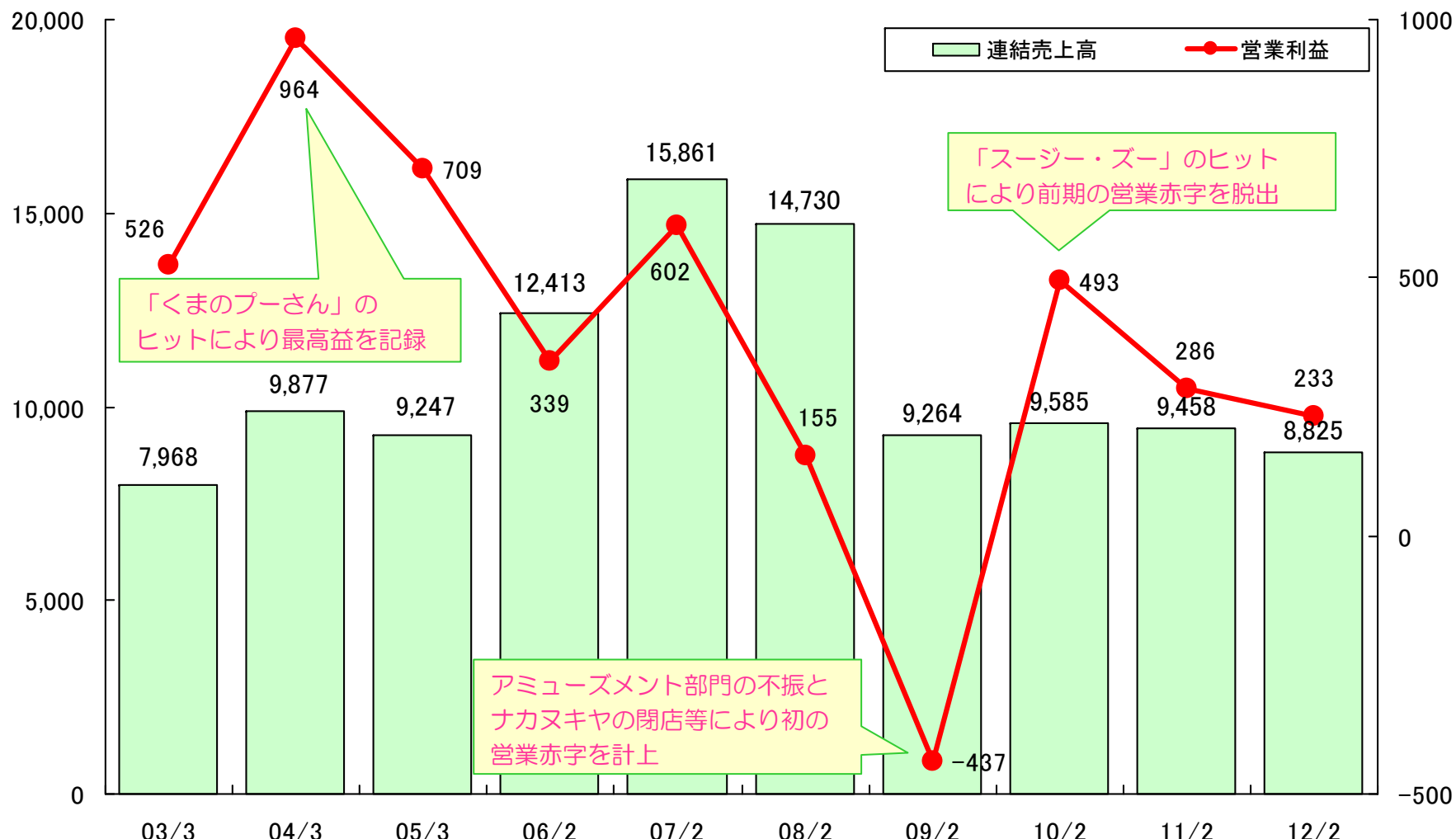


株式会社 ナカヌキヤ

- 「ナカヌキヤ」「SALAD BOWL」でのキャラクターグッズ、コスメ、生活雑貨等の小売販売

連結売上高・営業利益の推移

(単位: 百万円)



ROE(%)	13.0	16.8	16.8	9.3	11.6	-19.1	-37.7	17.1	7.4	8.4
EPS(円)	55.18	65.88	52.51	32.04	43.09	-58.94	-95.93	36.74	16.94	20.16

通期業績報告

通期業績ハイライト(3~2月)

	08/02	09/02	10/02	11/02	12/02	(単位:百万円)
売上高	14,730 (100.0)	9,264 (100.0)	9,585 (100.0)	9,458 (100.0)	8,825 (100.0)	SP部門の外食産業向けOEMが不調(震災によるキャンペーンの自粛)AM部門は新キャラクター投入も全体を押し上げるまでに至らず、前期比6.7%減収
売上総利益	3,614 (24.5)	2,185 (23.6)	2,719 (28.4)	2,524 (26.7)	2,370 (26.9)	利益率は前期比0.2ポイントアップしたが、減収により前年比6.1%減益
販管費	3,458 (23.5)	2,622 (28.3)	2,226 (23.2)	2,237 (23.7)	2,137 (24.2)	賃借料、荷造運賃等の減少により前年同期比4.5%減少
営業利益	155 (1.1)	△437 (-)	248 (5.1)	286 (3.0)	233 (2.6)	減収により前期比18.5%減益
経常利益	148 (1.0)	△476 (-)	527 (5.5)	287 (3.0)	234 (2.7)	減収により前期比18.4%減益
純利益	△489 (-)	△789 (-)	302 (3.2)	139 (1.5)	165 (1.9)	前期に特別損失に計上した商品不良損失がなくなったこと等により前年比18.6%増益

セグメント別業績増減要因(3月～2月)

キャラクターエンタテインメント事業

(単位:百万円)

	前期累計	当期累計	増 減	増減率
売 上 高	5,480	5,003	△477	△ 8.7%
AM部門	4,080	3,948	△131	△ 3.2%
SP部門	1,339	966	△373	△27.9%
EC部門	60	88	27	45.4%
営 業 利 益	129	29	△99	△77.3%

- ・AM部門** 前期ヒットした「スージー・ズー」の反動 △377百万円
 自社企画キャラクターの売上高の減少(でぶねこ、まるねこくらぶ、SweetBear) △260百万円
 新規キャラクターの売上高の増加(モケケ、Moja! 等) +325百万円
- ・SP部門** 食品業界向けOEMの減少 △196百万円
 製薬会社向けOEMの減少 △53百万円

— 震災によるキャンペーンの自粛・中止の影響 —

セグメント別業績増減要因(3月~2月)

キャラクター・ファンシー事業

(単位:百万円)

	前期累計	当期累計	増減	増減率
売上高	2,981	2,956	△25	△0.9%
営業利益	167	219	+51	30.9%

・モンスターハンター商品の売上高の増加 ゲームソフト発売の相乗効果

当期実績	209百万円	+176百万円
前期実績	33百万円	

・省エネグッズの売上高の増加 震災の影響により扇風機・携帯充電器等の販売増加

当期実績	72百万円	+52百万円
前期実績	19百万円	

・ウサビッチ商品の売上高の減少

当期実績	88百万円	△224百万円
前期実績	312百万円	

・携帯電話関連グッズの売上高の減少 スマートフォンの普及による需要の低下

当期実績	377百万円	△126百万円
前期実績	503百万円	

セグメント別業績増減要因(3月~2月)

リテイル事業

(単位:百万円)

	前期累計	当期累計	増減	増減率
売上高	996	865	△130	△13.1%
営業利益	△22	△26	—	—

・「ナカヌキヤ」3店舗の売上高の減少 △141百万円

心齋橋店 252百万円(前期比△28.3%) 震災の影響による外国人観光客の減少
売り場面積の縮小(前期比55%)

広島本通り店 404百万円(前期比△8.5%) } 近隣にオープンした大型商業施設の影響
松山銀天街店 125百万円(前期比△3.1%) } により商店街の集客数が減少

・「SALAD BOWL」の売上高の増加 +10百万円

当期実績 82百万円(3店舗)

前期実績 71百万円(5店舗)

トピックス(新規部門の進捗)

SKJ USA

- ・通期売上高 20百万円(前期比46.7%増)
- 12年4月に現地企業への初の納品が決定
(66,000ドル 約5百万円の売上見込み)
- ・13年2月期は売上47百万円を目標

ライセンス部門

- ・通期売上高 5百万円(前期比74.1%増)
- ・ピンクパンサー×チャッツXのライセンシーは19社

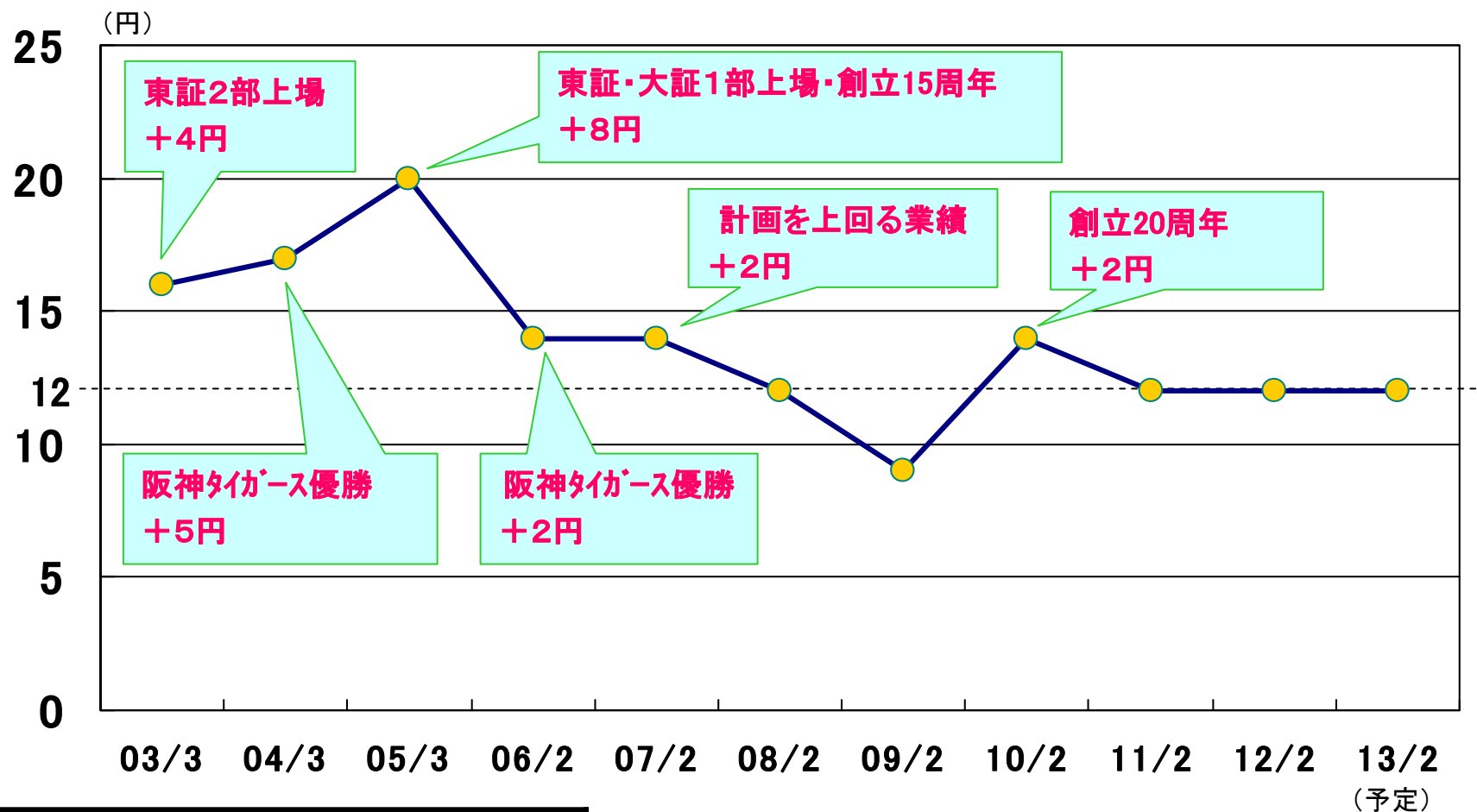
カプセルトイ部門

- 通期売上高 15百万円
- ・市場規模280億円のマーケットに新規参入

配当政策と業績予想

株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。



株式分割	1:1.3	1:1.2	1:1.3	1:1.1
------	-------	-------	-------	-------

通期業績予想

(単位:百万円)

	09/2	10/2	11/2	12/2	13/2	前期比
売上高	9,264	9,585	9,458	8,825	9,300	5.4%
売上総利益	2,185	2,719	2,524	2,370	2,498	5.4%
販管費	2,622	2,226	2,237	2,137	2,198	2.8%
営業利益	△437	493	286	233	300	28.3%
経常利益	△476	527	287	234	300	28.0%
当期純利益	△789	302	139	165	217	31.3%